



北海道新幹線に関する最近の報道について

4月、財務省が北海道新幹線（新函館北斗～札幌間）の費用対効果を試算し、「費用便益比が0.6で、国の評価基準では『基本的に中止』に分類される水準」と説明したことが報道されました。

※費用便益費とは・・・便益÷事業費（数値1.0以上であれば妥当と判断される）

※便益とは・・・便利さ等により社会全体が受ける恩恵を金額に換算したものの報道による試算は次のとおりです。

- 事業費：約3兆 200億円
- 便 益：約1兆9,000億円
- 費用便益比0.6（残事業0.9）

ここでいう「中止」という表現は、国の公共事業評価における基準を示したものであり、財務省が「工事の中止を求めた」という趣旨ではないと報じられています。実際、事業の継続及び見直しは、国の再評価手続きや今後の議論の中で判断されるものです。その他、下記のようなコメント等もされています。

- 物価上昇や不動産収入、既存新幹線との接続による便益などを加味すれば、費用対効果が改善する可能性がある
- 今回の指摘は、事業の採算性や財源の検討材料として示された側面がある

しかしながら、町としては、北海道新幹線札幌延伸が地域の将来にとって重要であるという姿勢に変わりはありません。

また、町が提案している「新幹線貨物構想」は、将来的に鉄道収入を増やし、事業採算性の改善に寄与し得る取り組みと考えています。

今後も国や北海道の動向を注視しつつ、新幹線札幌延伸を見据えたまちづくりを進めてまいります。



工事現場（栄原）



工事現場（大町）



入居者募集

〈有料広告〉

● ● ● ● ● 御相談に応じます ● ● ● ● ●

㊦ 堀川アパート

長万部町字長万部352-1 ☎ 01377-2-2377 携帯 090-4872-6235
 ストープ・その他完備、駐車場完備、敷金なし
 月額 28,000 から